

怖い

永田和宏

脅かしてさへおけばあとは人が人を互ひに見張る 戦前のように

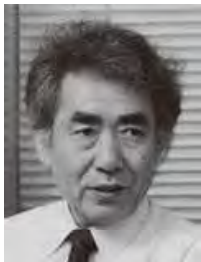
権力はほんとに怖いだがしかし怖いのは隣人 その視線なり

自粛とふたとへばそんな迎合がすぐそこにもう見えるではないか

余計なことには関わりたくないといふ意識だれにもあればそれこそが怖い

見解の相違と言ひて打ち切りし人ありまこと素直な本音 —8月9日、長崎

(しんぶん赤旗1月1日掲載)



ながた・かずひろ

1947年滋賀県生まれ。歌人。細胞生物学者。京都産業大学教授。京都大学名誉教授。短歌結社「塔」前主宰。歌集『風位』（芸術選奨文部科学大臣賞、迢空賞）、『後の日々』（斎藤茂吉短歌文学賞）、著書『近代秀歌』、『現代秀歌』など多数。夫人は歌人の河野裕子（2010年没）、長男永田淳、長女永田紅も歌人。

「怖い」が現実

永田和宏さんが「自粛とふたとへばそんな迎合がすぐそこにもう見えるではないか」と詠んだすぐ後に右の新聞記事が出ました。

「政府が右ということをして左と言うわけにはいかない」と発言して批判を浴びた靱井勝人会長の就任以来、「安倍さまのNHK」と揶揄されるぐらい、NHKは政府の宣伝機関と化しています。放送法が定めている「公正・公平・不偏不党」の報道をしないのであれば、私たちが受信料を払う意味はありません。

NHKは、良い番組もたくさん作っています。私たちが良い番組は大いに賞賛し、問題点は厳しく批判し、NHKに私たちの声を届けるよう努めたいものです。

「NHK番組 政治家ネタ没に」爆笑問題明かす

お笑いコンビの爆笑問題が7日未明に放送されたTBSのラジオ番組「JUNK爆笑問題カーボーイ」で、NHKのお笑い番組に出演した際、用意していた政治家に関するネタを局側に没にされたことを明らかにした。出演したのは3日に放送された「初笑い東西寄席2015」。ラジオ番組によると、放送前に番組スタッフに対して、「ネタ見せ」をした際、政治家のネタについてすべて放送できないと判断されたという。番組の中で田中裕二さんは「全部ダメって言うんだよね。あれは腹立ったな」と話した。太田光さんは「プロデューサーの人にもよるんだけど、自粛なんです。これは誤解してもらいたくないんですけど、政治的圧力は一切かかってない。テレビ局側の自粛っていうのはありますけど。問題を避けるための」と話し、田中さんは「色濃くなってるのは肌で感じるね」と応じた。NHK広報部は朝日新聞の取材に、「放送にあたって娯楽番組の際の通常の打ち合わせを出演者に行いましたが、打ち合わせの自身に関することについては、普段からお答えしていません」としている。

(朝日新聞 1月8日)

よく言うよ、改憲はまず「環境権」の創設から、だって 菅官房長官

菅官房長官は1月10日、BS朝日の番組で、憲法改正について、戦争放棄をうたう9条より前に着手すべき事例として、環境を守るうえでの国の義務、国民の責務をうたった「環境権」の創設や、私学への公費支出を禁じた89条の改正を挙げました。

沖縄県民が名護市長選から市町村議会議員選挙、知事選、12月の衆院選と、繰り返し辺野古への基地移転は許さないと民意を示しているにもかかわらず、「粛々と」辺野古の基地建設を進め、辺野古の自然を破壊しようとしているのは自公政権ではありませんか。失われた自然は二度と取り戻せません。ジュゴンの住む辺野古の海は永久に失われます。環境破壊の犯人が、改憲の地ならしに「環境権」を持ち出すとは、国民を愚弄するにもほどがあります。

阪神・淡路大震災から20年、市民追悼のつどい開かれる

あの大震災から20年、1995年に生まれた子どもたちが今年成人式を迎えました。多くのところで追悼式が行われましたが、「阪神・淡路大震災被災者ネットワーク」など7団体の実行委員会による「1・17市民追悼のつどい」が勤労会館7階大ホールで開かれました。

黙祷のあと、田中伶奈さんが「二十歳のメッセージ」を述べ、盲導犬、聴導犬、介助犬訓練士になって人々の支えになりたいという夢を語りました。

主催者、安田秋成さんは「6,400人を超す犠牲者は、命と暮らしを守る家に押しつぶされて亡くなった。丈夫な住宅、安全な町があったらこんなに多くの方が亡くならずにすんだ。それだけに遺族の皆さんは、無念の思いを今もじっと胸にこらえておられます。安心、安全な町ができて、市民の命と暮らしが守られる神戸市ができるまで皆さんと一緒に追悼のつどいを続けたい」と挨拶されました。



日蓮宗僧侶20人による声明

「憲法9条の会・岩岡」第84回世話人会 & 新年会のフリートークキングから

1月10日(土)、「割烹 杉繁」を会場に16人が集まって世話人会兼新年会を開きました。会長あいさつ、事務局の憲法をめぐる情勢報告の後、「憲法9条の会・岩岡」が今年取り組むべきことについて、参加者の皆さんに自由に意見を述べてもらいました。

一つは、第9回総会ですが、講演は、「外国人から見た憲法9条」というタイトルでジム・デイヴィスさん(牧師、福吉台2丁目在住)にお願いしてはどうかということになりました。早速お願いしたところ快く引き受けていただきました。日程はデイヴィスさんに合わせるということでまだ決まっていますが、5月上旬ごろになる予定です。その時に延期しているバザーも行いますので、ご提供いただける品をご準備下さい。

二つは、憲法をもっとわかりやすく伝える工夫が必要ではないか、という意見です。子ども向けの憲法の本が出ていますが、『日本国憲法 大阪おばちゃん語訳』という本(谷口真由美著 文藝春秋・1100円)が出ています。例えば憲法9条は「戦争は棄てましてん」。安倍内閣が行使容認を閣議決定した集団的自衛権については「仲間のツレ」がするケンカになぞらえ「『俺、アイツのツレやから』という理由でケンカに行くようなモンですわ」。立憲主義は「あるときは平和を守り、あるときは国の主役はそこに住む人々やってことを確認させて、あるときは権力者にブレーキをかける、それが憲法ですな」と。他にわかりやすい本があればご紹介下さい。

催し物のお知らせ

①浜矩子(エコノミスト、同志社大学教授) 講演会(「憲法9条の会・岩岡」第8回記念行事)

「幸せのための経済学～アベノミクスのゆくと9条～」

と き：2015年2月22日(日) 13:30開演(13:00開場)

ところ：西神オリエンタルホテル4階翔雲

参加費：1,000円(高校生以下、障がい者500円)

チケットあります。参加ご希望の方は、事務局までご連絡下さい。

②その会話で逮捕?—共謀罪を考える—暗黒の社会への道を許すな

基調報告：海渡雄一弁護士(日弁連共謀罪対策本部副本部長)

と き：2015年2月7日(土) 13:00～16:00(12:30開場)

ところ：兵庫県弁護士会館4階講堂(神戸地方裁判所すぐ横) 入場無料

第85回世話人会

と き：2015年2月21日(土曜日)13:30～15:30

ところ：岩岡連絡所和室

2015年の会の活動について話し合います。どなたでもご参加下さい。

「憲法9条の会・岩岡」連絡先(事務局) 白井篤子 (☎ 078-967-2758)